

おかべきねんかん 金鈴荘  
岡部記念館 「金鈴荘」

真岡市荒町2162

金鈴荘は、明治時代に岡部呉服店の岡部久四郎氏が建築材料等を集め、およそ10年の

歳月をかけて完成させたものです。建物は木造2階建ですが、外壁を防火土蔵造とし、防火

対策がされています。



室内には、文化財としても価値のある美術作品が数多くあります。

金鈴荘は、建築してから昭和27年まで岡部家の別荘として、関係者の接待や呉服の展示会場として使用されていました。その後、昭和63年6月まで割烹料理店「金鈴荘」として利用されていましたが、その年の8月に真岡市が借り受け、岡部記念館「金鈴荘」として保存することになり、平成13年1月に岡部呉服店から真岡市に寄付されました。

